

“安全資格”要員認証制度のご案内

セーフティアセッサ / セーフティベーシックアセッサ /
ロボットセーフティアセッサ / セーフティオフィサ

安全資格は、働く人の安全(Safety)、安心(ANSHIN)、
ウェルビーイング(Well-being)の向上を目指します



『機械・装置・設備・ロボットなどを設計する人
& 使用する人』の、機械/ロボット安全資格

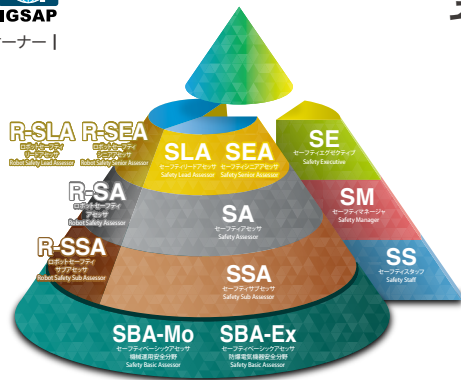


『経営者・経営層及び管理者層やスタッフ層』
の、マネージメント安全資格



「Well-being」とは、個人の権利や自己実現が
保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態
にあることを意味する概念です。(厚生労働省)

安全資格は働く環境の「安全」化推進と、働く人の「安心」感を醸成し そして「ウェルビーイング(Well-being)」を向上



産業現場における休業4日以上死傷者数は厚生労働省の2020年データによると131,156人と2002年以降で最多となっております。労働災害削減を実現するためには世界の安全の新潮流「VISION ZERO (VZ)」で提唱されている、働く人の安全(Safety)・健康(Health)そしてウェルビーイング(Well-being)を目指すVZ7つのゴールデンルールが重要視している「従業員の資格を向上し、能力を開発しましょう」の実践です。

JCが運営する技術系・マネジメント系の資格は国際安全規格・JIS規格などに基づく安全資格制度です。その導入により、働く環境の安全化が図れ、働く人の安心感を醸成し、さらには協調安全の推進によりウェルビーイング向上が実現でき、企業のリスク回避と価値向上に貢献します。

安全・安心そしてウェルビーイングを向上

連携 協力

職務に応じて技術系とマネジメント系資格があり、安全に関する知識と能力の保有を認証する安全資格で、互いに連携・協力し働く人のウェルビーイングを向上。

技術系

働く環境の安全化を現場目線で推進

マネジメント系

働く環境の安全化をマネジメント目線で推進

リスクアセスメント + リスク低減

安全性の分野別保護方策の詳細設計をする
SEA セーフティシニアアセッサ
 安全性の総合的な妥当性確認をする
SLA セーフティリードアセッサ
 SEA, SLAの力量に加えロボットシステムに関する安全設計を行う
R-SLA / **R-SEA** ロボットセーフティリードアセッサ / ロボットセーフティシニアアセッサ

リスクアセスメント

安全性について、リスクアセスメントのリーダーとしてリスクアセスメントを実施し、保護方策を立案する
SA セーフティアセッサ
 SAの力量に加えロボットシステムに関する安全設計を行う
R-SA ロボットセーフティアセッサ
 安全性について、リスクアセスメントのメンバーとしてリスクアセスメントを実施する
SSA セーフティサブアセッサ
 SSAの力量に加えロボットシステムに関する安全設計を行う
R-SSA ロボットセーフティサブアセッサ

安全な機械の使用

SBA-Mo セーフティベーシックアセッサ 機械運用安全分野
 機械を安全に使い、その安全性を維持する
SBA-Ex セーフティベーシックアセッサ 防爆電気機器安全分野
 防爆電気機器を安全に使い、その安全性を維持する

SE セーフティエグゼクティブ
 経営層が安全に対する知識・見識を持ち、リーダーシップを発揮し全社の安全を牽引する

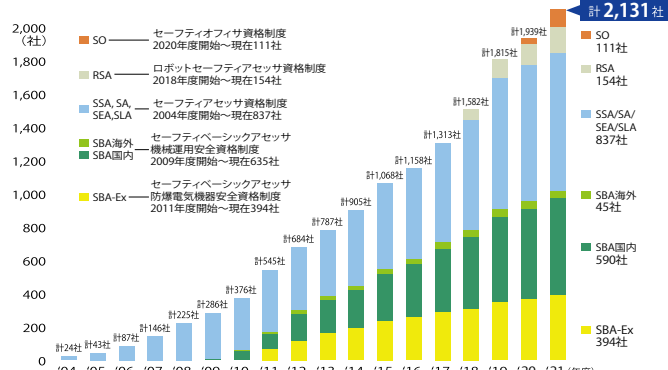
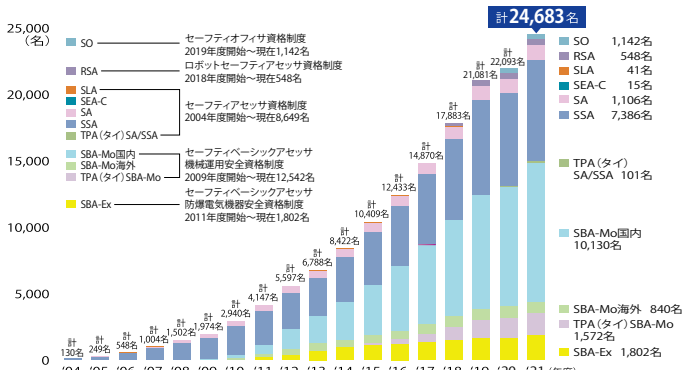
SM セーフティマネージャ
 管理者層として必要な安全に関する能力と意志を有し、社員に対して安全への取り組みを正しく指導、推進する

SS セーフティスタッフ
 スタッフ層として必要な安全に関する知識と認識を持ち、主体的に行動する

2004年 資格認証制度創設以来 資格者数24,000名、企業数2,100社突破! (2022年4月1日現在)

セーフティアセッサ/セーフティベーシックアセッサ/ロボットセーフティアセッサ/セーフティオフィサ 資格者数の推移

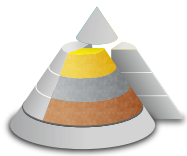
セーフティアセッサ/セーフティベーシックアセッサ/ロボットセーフティアセッサ/セーフティオフィサ 資格者保有企業数の推移



▶ 取得企業名などグラフの詳細は当社ウェブサイトに掲載しております。 https://www.japan-certification.com/certifying-examination/qualification_transition/

安全資格制度採用企業からのコメント

- 当社ではSA/SSA資格を機械安全のために必要な社内認定資格として制度化しています。(輸送用機器製造業)
- 弊社では現場立ち上げスタッフ全員のSSA資格取得を目指し安全化を推進しています。(電気機器製造業)
- 業界の中では、アセッサ資格の有効性認識が高く、早く公的資格にすべきと思います。(輸送用機器製造業)
- SBA/SA資格が機械安全を学ぶ人々の基本知識となるよう普及に力を入れていき、タイ産業界において安全性の底上げに貢献したいと考えています。(タイSBA/SA資格推進者)
- SBA-Mo資格取得のための講習会・試験を実施し、社員全体の安全に対する認知度を上げていきたい。(機械製造業)
- SBA-Ex資格は防爆安全の基礎学習に非常に有効であると考えており、この資格制度を人材育成に活用しています。(防爆電気機器製造業)
- R-SA資格が中心となって、社内安全規格の策定や製造装置への安全チェックを充実化しています。(Sier/システムインテグレータ)
- 弊社ではR-SA資格者が、適切な機能安全指導を行い協働ロボットの妥当性ある安全確保を行っている。(輸送用機器製造業)
- 当社ではISO45001推進のため網羅的な安全知識の習得にSO資格を活用しています。(電気機器製造業)
- 管理者層のさらなる安全知識習得・理解度向上による効果的な安全活動の推進と安全文化向上のため、SO資格(SE/SM)を管理職の取得必須化として運用しています。(化学製品製造業)



SA / 機械安全資格 // SSA/SA/SEA/SLA

スキームオーナー
(一社)日本電気制御機器工業会



セーフティアセッサ資格



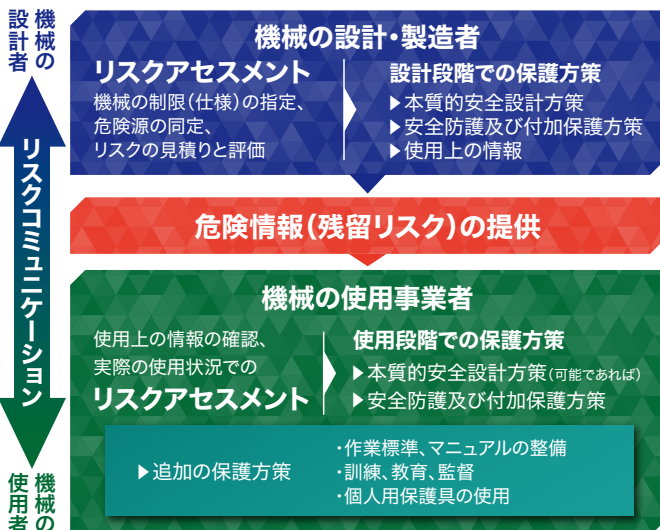
国際安全規格に基づく機械安全の 知識・能力を認証する安全資格

資格取得で職場のウェルビーイング向上

セーフティアセッサ資格は、安全対策を適切に実施するために必要な国際安全規格に基づく機械安全の知識、能力を有することを第三者認証する資格制度で、知識、能力に応じて3段階・4資格(SEAとSLAは同レベル資格)に区分されています。資格者は、機械安全に関して所定の知識・能力を有することが客観的に認証され、機械安全関連業務を適切に遂行できることから、企業内外での職能に対する高い評価と信頼につながることができます。

機械安全対策の実施には、設計者と使用者間で リスクコミュニケーションが行える人材が必要。

機械の製造者は、機械の設計・製造段階でリスクアセスメント・保護策を実施し、残留リスクがある場合はこれを危険情報として機械の使用者に提供する必要があります。また、機械の使用者は、この情報に基づきリスクアセスメントを実施し、保護策等の必要な処置を講ずることが努力義務化されており、設計者と使用者間での円滑なリスクコミュニケーションで安全対策が適切に実施できます。



セーフティリードアセッサ (SLA)

SAのもつ力量に加え、関連する規格及び規則類並びに適合性評価に関する専門的な知識に基づき、第三者として機械の総合的な妥当性確認を行う力量を有する。



セーフティシニアアセッサ (SEA)

SAのもつ力量に加え、特定の安全技術分野に関する規格及び当該規格に基づく検証及び妥当性確認に対する専門的な知識並びに技能に基づき、機械の安全方針の詳細な設計を行う力量を有する。



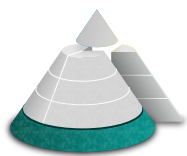
セーフティアセッサ (SA)

産業分野で用いられる機械の安全性に関して、その設計及び妥当性確認のための知識並びに技能に基づきリスクアセスメントを実施し、リスク低減の方針の検討及び具体的な安全方針の立案を行う力量を有する。



セーフティサブアセッサ (SSA)

産業分野で用いられる機械の安全性に関して、その設計及び妥当性確認のための基本的な知識並びに技能に基づき、リスクアセスメントを実施する力量を有する。



SBA / 機械/防爆安全資格 // SBA-Mo/SBA-Ex

スキームオーナー
(一社)日本電気制御機器工業会



セーフティベーシックアセッサ資格



SBA-Mo 資格/機械運用安全分野

機械の運用に関わる方々、管理・営業職等の幅広い層を対象に、国際安全規格に基づいた機械安全の普遍的・基礎的な知識の習得と第三者認証を行う教育・認証プログラムで、ものづくり現場の人材育成に最適です。

SBA-Ex 資格/防爆電気機器安全分野

防爆電気機器を使用する現場設備の安全パトロールや点検を行う設備の運用者や管理者、オペレータ、保全関係者の方々を対象にIEC60079-17(防爆電気設備の保守・点検)に基づく、防爆電気機器の安全に関する基本的知識の習得と第三者認証を行う教育・認証プログラムで、爆発性雰囲気なかで使用する電気機械・設備の安全確保と運用のための人材育成に最適です。

セーフティベーシックアセッサ 機械運用安全分野 (SBA-Mo)

機械が用いられる現場において安全性を確保し、その安全性を維持する力量を有する。

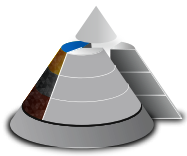


セーフティベーシックアセッサ 防爆電気機器安全分野 (SBA-Ex)

可燃性物質が存在する現場の安全性を維持するための、現場で用いられる防爆電気機器を安全に取り扱う力量を有する。



(注1) これらの資格は、機械安全に関する教育やその能力を評価する様々な取組みに共通する知識や技能に関する要件を具体化し、標準的な指標での教育と評価を可能とするJIS B9971:2019「機械安全に関する要員の力量」に準拠しています。



ロボットセーフティアセッサ資格



進化するロボット活用のための、 ロボット安全人材育成に最適

資格取得で職場のウェルビーイング向上

産業用ロボットによる自動化は年々高度化、複雑化しており、ロボットに起因する事故は現在でも毎年発生しております。これらの労働災害を削減するためには、機械安全に関する知識をベースにした、ロボット特有のリスクアセスメントやリスク低減の手法などに関する正確な知識と能力が必要です。本資格は、ロボットシステムに関する設計・生産技術者(システムインテグレータを含む)に必要なとされるロボット安全・機械安全の知識・能力を第三者認証する資格制度です。

セーフティアセッサ資格認証制度をベースにした、 ロボット基本安全知識の習得を認証

国際安全規格に基づく、機械安全の知識・能力の保有を要員認証するセーフティアセッサ資格をベースにした、ロボット特有の基本安全知識の習得が必要です。

厚生労働省通達(基安発0325第1号)で示された、ロボットシステムに特化したカリキュラムに相当する内容となっています。

ロボット分野に関連する事業従事者に要求される法規・規格の知識

ロボット分野に関連する事業従事者	ロボット分野においても基本となる安全知識	ロボット分野に特化した安全知識
ロボットメーカー 安全なロボットの提供 安全システム構築用機能の提供	労働安全衛生法 ISO12100 機械類安全設計原則 ISO13849 機械制御システム安全	ISO10218-1 産業用ロボット安全要求
システムインテグレータ 安全なシステムの提供	労働安全衛生規則 IEC62061 機械類の安全性-安全関連の電気・電子・プログラマブル電子制御システムの機能安全	ISO/TS15066 ロボットとロボット装置一協働ロボットの技術仕様書 ISO10218-2 ロボットシステム安全要求
エンドユーザー システムを安全に運用	などの安全に関する共通規格	

参照資料: 機能安全活用テキスト、機能安全活用実践マニュアル 産業用ロボット編(ともに、平成29年2月 中央労働災害防止協会発行)

ロボットセーフティリードアセッサ(R-SLA)

SLAのもつ力量・資格取得に加え、ロボットシステムの安全設計に関する力量を有する。



ロボットセーフティシニアアセッサ(R-SEA)

SEAのもつ力量・資格取得に加え、ロボットシステムの安全設計に関する力量を有する。



ロボットセーフティアセッサ(R-SA)

SAのもつ力量・資格取得に加え、ロボットシステムの安全設計に関する力量を有する。



ロボットセーフティサブアセッサ(R-SSA)

SSAのもつ力量・資格取得に加え、ロボットシステムの安全設計に関する力量を有する。



■IGSAPでは、ロボット運用安全分野の資格制度創成を推進中

機械による労働災害の一層の防止を目的とした 厚生労働省通達について

セーフティアセッサ資格と 機械安全教育対象者との関係

厚生労働省通達「設計技術者、設計技術管理者に対する機械安全に係る教育について」及び「同(略)留意すべき事項について」(基安発0415第1号)において、同通達による教育カリキュラムと同等の講習を受講し、「セーフティアセッサ資格」のそれぞれの資格を有する者は、設計技術者あるいは生産技術管理者に係る十分な知識を有する者とみなせること、また、「セーフティベーシックアセッサ」資格を有するものは、機械ユーザーの職長、作業主任者、各種安全担当者の機械安全教育に有効であることが明記されました。

セーフティアセッサ、 セーフティベーシックアセッサ資格者		厚生労働省通達の 教育対象
セーフティリードアセッサ(SLA)		設計技術者 生産技術管理者
セーフティアセッサ(SA)		
セーフティサブアセッサ(SSA)		生産技術管理者
セーフティベーシックアセッサ(SBA)	機械運用安全分野	職長、作業主任者、 各種安全担当者
	防爆電気機器安全分野	

厚生労働省通達「基安発0415第3号、基安発0415第1号」



SO / マネージメント安全資格 // SS/SM/SE

スキームオーナー
(一社)セーフティグローバル
推進機構



セーフティオフィサ資格



企業として必須の「安全」に関する 知識保有と理解を認証する資格制度

資格取得で職場のウェルビーイング向上

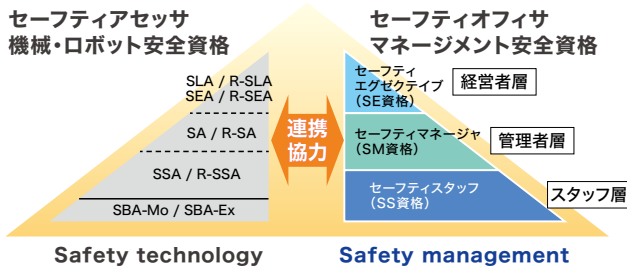
セーフティオフィサ資格認証制度は、企業トップを含む経営層及び管理者層やスタッフ層の安全に対する知識や理解の確認を目的とした要員教育認証システムです。時間・場所を選ばずに安全学習ができるeラーニングの受講後にWebで試験を実施します。

セーフティグローバル推進機構(IGSAP)が制定・制度化し国際的にも通用する資格として普及推進し、働く人のウェルビーイング向上を推進しています。

マネージメント系資格と 技術系資格の連携・協力により、 安全性・生産性と企業価値向上が図れる

企業においては、顧客、従業員、社会などに対する安全の維持、確保が必要ですが、セーフティオフィサ資格は、これら企業運営に関わる企業人にとって必須の「安全」に関するマネージメント資格で職務に応じた3つの資格区分があります。

安全に関する資格としては、主に技術者を対象とした機械安全の知識・能力を有するセーフティアセッサ資格がありますが、企業内において、これらセーフティアセッサ資格者と、マネージメントを担当するセーフティオフィサ資格者が全社的に連携・協力することにより、企業全体の安全化への推進効果が高まり、安全性だけでなく生産性の向上など、企業の成長や価値向上をもたらす効果が期待できます。



セーフティエグゼクティブ (SE)

安全に対する正しい知識と深い見識を持ち、CSO(チーフ・セーフティ・オフィサ)等の立場で安全経営においてリーダーシップを発揮し、社員に対して安全を啓発できる能力と強い意志を有する。



セーフティマネージャ (SM)

安全に対する正しい知識と見識を持ち、安全の指導者、監督者として、社員に対して安全に関する取り組みを正しく指導、推進できる能力と意志を有する。



セーフティスタッフ (SS)

安全に対する正しい知識と認識を持ち、会社の安全方針や取り組みに則して主体的に行動することができる。



eラーニングで安全を学び Webで試験 (Web Based Testing)

時間・場所を選ばず安全に関する理解・知識習得と、試験の受験ができます。



eラーニング教材 安全四学

基礎安全学

- 安全の大前提と安全の目標
- 安全とリスクの定義
- 安全と価値観
- 安全における役割と責任 他

経営安全学

- 企業にとってのリスクと安全
- 安全・安心に向かう時代の潮流
- 企業の競争力は安全にあり
- 安全性と生産性 他

社会安全学

- 安全と社会制度
- 安全のための法律と規制
- 安全と責任
- 安全の新しい時代 他

構築安全学

- 安全学における技術的側面
- リスクアセスメントの考え方
- リスク低減とスリーステップメソッド
- 和の安全と安全学 他

講師は安全学の第一人者、向殿教授

向殿政男

■主な職歴

1989年 明治大学理工学部情報科学科 教授
 2002年 明治大学理工学部 学部長
 現職 明治大学 名誉教授 (工学博士)
 セーフティグローバル推進機構会長
 公益財団法人 鉄道総合技術研究所会長

■その他主な役職

厚生労働省 社会資本整備審議会昇降機等
 事故調査部会長
 経済産業省 消費審議会製品安全部会長
 消費者庁 参与

■表彰受賞

経済産業大臣表彰受賞
 厚生労働大臣表彰受賞
 国土交通大臣表彰受賞
 安全功労者内閣総理大臣表彰受賞



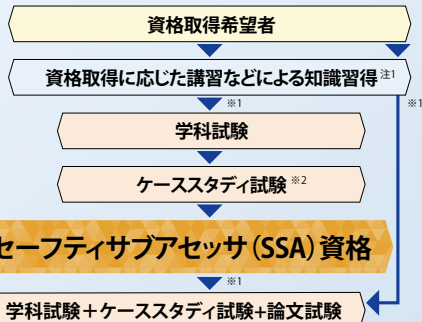


資格の取得方法

セーフティアセッサ/セーフティベーシックアセッサ/
ロボットセーフティアセッサ/セーフティオフィサ

機械の〈使用・製造・設計〉の各段階に応じた
資格取得がポイント
受験資格は問いません (SEA/SLAを除く)

セーフティアセッサ (SSA/SA/SEA/SLA) 資格取得方法



SA資格取得者で実務経験1年

実務試験

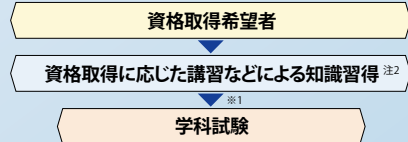
筆記試験※3

学科試験

セーフティリードアセッサ (SLA) 資格

セーフティシニアアセッサ (SEA) 資格

セーフティベーシックアセッサ (SBA-Mo/SBA-Ex) 資格取得方法



セーフティベーシックアセッサ (SBA-Mo/SBA-Ex) 資格

※1 受験資格を問いません。
 ※2 学科試験に合格し、ケーススタディ試験に不合格の場合は1年間の再受験に限り学科試験は免除となります。
 ※3 実務試験に合格し、筆記試験に不合格の場合は、翌年度、翌々年度の再受験に限り実務試験は免除となります。
 【例】2022年度の実務試験に合格した場合、翌年度(2023年度)、翌々年度(2024年度)の試験において実務試験は免除されます。
 注1 NECA規格0901:セーフティアセッサ資格制度規定—セーフティサブアセッサ、セーフティアセッサ、セーフティシニアアセッサ及びセーフティリードアセッサの力量
https://www.neca.or.jp/wp-content/uploads/NECA_0901_2020.pdf
 注2 NECA規格0902:セーフティアセッサ資格制度規定—セーフティベーシックアセッサの力量
https://www.neca.or.jp/wp-content/uploads/NECA_0902_2020.pdf

ロボットセーフティアセッサ (R-SSA/R-SA/R-SEA/R-SLA) 資格取得方法

資格取得希望者

セーフティアセッサ (SSA/SA/SEA/SLA) 資格者が前提条件
※同時期のセーフティサブアセッサ試験との同時受験可能

ロボット安全に必要な講習などによる知識習得

学科試験

ロボットセーフティアセッサ資格

セーフティオフィサ (SS/SM/SE) 資格取得方法

申込受付

Web試験の2か月前10日

Web試験の2か月前10日が申込締切です。(6月の試験であれば4月10日が締切です。)

eラーニング受講期間

申込締切の翌月11日から1か月間

申込を締め切った翌月11日から翌々月10日までの1か月間が、eラーニングの受講期間となります。

受験期間

eラーニング受講終了の翌日から7日間

eラーニング受講終了翌日の11日から17日までの7日間の間に、1時間の時間を確保し受験してください。受験期間/試験時間は全資格とも同じです。

試験結果の連絡

受験月の翌月初

試験結果は、受験月の翌月の月初に、日本認証ホームページ上に掲載いたします。

試験結果書類の送付

受験月の翌々月

試験結果者、合格の場合は要員力量認証証明書、認証カードを受験月の翌々月に送付します。

セーフティオフィサ (SS/SM/SE) 資格

日本認証の講習会3つのタイプ

3コースとも同様の学習効果が得られます

会場集合タイプ

受講者と講師が集合し、対面式で講習会を行います

オンライン集合タイプ

Zoomにより、インターネット経由で講習会を行います

eラーニングタイプ

動画のオンデマンド配信によるeラーニングとメールQ&Aを組合わせたプログラムです

講習会の種類

機械安全実務講習会[基本コース]

機械安全実務講習会[応用コース]

機械安全実務講習会[発展コース]

ロボット安全講習会

*コースによって選択できる講習会タイプが異なります。

安全で安心な職場実現のために、機械安全やロボット安全に関する確かな知識と能力を持つことが重要です。

機械安全に関する基礎的な知識習得およびリスクアセスメントを学ぶ基本コース(2日間)、保護方策まで学べる応用コース(4日間)、安全関連部の設計知識習得のための発展コース(2日間)、産業ロボットのリスク低減手法を学ぶロボット安全講習会(2日間)があります。

試験日、試験日程、講習会の詳細については日本認証ホームページでご確認ください。



日本認証株式会社
JAPAN CERTIFICATION CORPORATION

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目7番53号 Marutaビル8階

<https://www.japan-certification.com/>

TEL:(06)4807-3337 (土日祝日を除く9:00~17:00) FAX:(06)4807-3350